

# 鳥取県の推計人口（年報）

## 【令和元年10月～令和2年9月】

鳥取県人口移動調査において、1年間（令和元年10月～令和2年9月）の状況を下記のとおり取りまとめました。

記

### 1 鳥取県の推計人口

推計人口は551,402人で、前年に比べ4,261人減少し、平成8年以降25年連続の減少となった。

令和2年10月1日現在の推計人口は551,402人で、前年に比べ4,261人減少し、世帯数は221,443世帯で、前年に比べ1,258世帯増加した。

年	人口（人）			人口性比 （男性/女性）×100	世帯数（世帯）	1世帯当たりの人員（人）
	総数	男	女			
令和2年(a)	551,402	263,656	287,746	91.6	221,443	2.49
令和元年(b)	555,663	265,710	289,953	91.6	220,185	2.52
対前年差(a-b)	-4,261	-2,054	-2,207	0.0	1,258	-0.03

年齢3区分別の構成割合は、年少人口は12.5%、生産年齢人口は54.9%で過去最低、老年人口は32.5%で過去最高となった。

年齢3区分別の人口を前年と比べると、年少人口は974人減少し、生産年齢人口は4,767人減少した。一方、老年人口は1,480人増加した。

区分	人口（人）	構成割合（%）	対前年増減（人、ポイント）	
年少人口（0～14歳）	68,595	12.5	-974	-0.1
生産年齢人口（15～64歳）	300,465	54.9	-4,767	-0.5
老年人口（65歳以上）	177,979	32.5	1,480	0.5
うち75歳以上	93,184	17.0	89	0.1
総人口	551,402	—	-4,261	—

注1) 総人口は年齢不詳(4,363人)を含む。

注2) 構成割合は総人口から年齢不詳を除いて算出。

注3) 構成割合は小数第二位以下を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合がある。

### 2 人口動態

自然増減、社会増減ともに減少であったが、減少幅は前年に比べ593人縮小した。

人口増減では、自然増減が3,327人、社会増減が934人の減少で、4,261人の減少であったが、減少幅は前年に比べ593人縮小した。

(単位:人)

区分	人口増減	自然増減			社会増減		
		自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
令和2年(a)	-4,261	-3,327	3,852	7,179	-934	9,423	10,357
令和元年(b)	-4,854	-3,550	4,065	7,615	-1,304	10,146	11,450
対前年差(a-b)	593	223	-213	-436	370	-723	-1,093

注) 自然増減とは出生と死亡による人口の増減をいい、社会増減とは県外転入と県外転出による人口の増減をいう。

自然増減は、3,327人減少し、23年連続の減少となった。

出生数は3,852人で前年に比べ213人減少し、死亡数は7,179人で前年に比べ436人減少した。

月別では、出生数は令和2年6月が357人、死亡数は令和2年1月が741人と最も多く、すべての月で死亡数が出生数を上回って自然減少となった。(最大減少月令和2年1月、421人)

**社会増減は、934人減少し、20年連続の減少となった。**

県外転入者数は9,423人で前年に比べ723人減少し、県外転出者数は10,357人で前年に比べ1,093人減少した。年齢5歳階級別の社会増減は、0～4歳が124人と最も増加し、20～24歳が900人と最も減少した。

区分	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
県外転入	594	281	132	709	1,906	1,446	1,116	788	574	525	388	300	225	142	107	190
県外転出	470	290	142	1,044	2,806	1,663	1,022	704	594	516	345	260	147	91	78	185
社会増減数	124	-9	-10	-335	-900	-217	94	84	-20	9	43	40	78	51	29	5

**3 市町村別推計人口**

**推計人口が最も多いのは鳥取市の187,684人、最も少ないのは江府町の2,627人**

市町村別で推計人口が最も多いのは鳥取市の187,684人、次いで米子市の147,268人であり、最も少なかったのは江府町の2,627人、次いで日野町の2,837人であった。

**前年に比べ年少人口割合は5町で上昇、生産年齢人口割合はすべての市町村で低下、老年人口割合はすべての市町村で上昇**

年少人口割合は前年に比べ若桜町、八頭町、日吉津村、伯耆町及び日南町で上昇し、鳥取市など9市町で低下した。

生産年齢人口割合は鳥取市が57.5%と最も高く、次いで米子市の57.2%であった。前年と比べ全市町村で低下した。

老年人口割合は日南町が52.9%と最も高く、次いで日野町が51.2%であった。前年と比べ全市町村で上昇した。

区分	人口構成状況
年少人口割合(0～14歳)	[上昇] 若桜町、八頭町、日吉津村、伯耆町、日南町 [同水準] 米子市、倉吉市、境港市、岩美町、北栄町 [低下] 上記を除く、9市町
生産年齢人口割合(15～64歳)	[低下] 全市町村
老年人口割合(65歳以上)	[上昇] 全市町村

**4 市町村別人口動態**

**日吉津村を除くすべての市町で人口が減少**

人口増減は、日吉津村が6人増加したが、その他の市町で減少した。最も減少したのは鳥取市の1,056人、次いで倉吉市の463人であった。

**自然増減数はすべての市町村で減少**

自然増減数は、すべての市町村で減少した。最も減少したのは鳥取市の762人、次いで米子市の596人であった。

**社会増減数は米子市及び日吉津村を除く17市町で減少**

社会増減数は、米子市で197人、日吉津村で13人増加したが、その他の市町で減少した。最も減少したのは鳥取市が294人、次いで倉吉市の163人であった。

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への717人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への525人

県外転入者は島根県から米子市への717人が最も多く、次いで兵庫県から鳥取市への363人であった。

県外転出者は米子市から島根県への525人が最も多く、次いで鳥取市から大阪府への476人であった。

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
島根県	1,330	717	250	184	179	1,147	525	265	131	226
岡山県	865	337	283	88	157	869	327	270	79	193
大阪府	828	339	231	43	215	1,225	476	304	97	348
外国	818	280	140	64	334	626	238	104	80	204
兵庫県	783	363	187	40	193	908	471	214	41	182
広島県	768	292	273	47	156	797	328	285	58	126
東京都	680	261	225	46	148	909	324	308	59	218

#### <参考> 外国人(国籍不詳を含む)の推計人口・人口動態

推計人口は6,994人で、前年に比べ146人増加し、5年連続の増加となった。

令和2年10月1日現在の推計人口(国籍不詳を含む。以下同じ。)は、6,994人で、前年に比べ146人増加し、5年連続の増加となった。男女別人口は、男性2,802人、女性4,192人であった。

市町村別の推計人口は、米子市の2,484人(男性937人、女性1,547人)が最も多く、次いで鳥取市の2,400人(男性1,192人、女性1,208人)であった。

県外転入者数は1,047人、県外転出者数は897人で、転入超過数は150人

自然動態をみると、出生数は11人(男性4人、女性7人)、死亡数は15人(男性11人、女性4人)であった。

社会動態をみると、県外転入者数は1,047人(男性454人、女性593人)、県外転出者数は897人(男性394人、女性503人)で、転入超過数は150人(男性60人、女性90人)であった。

市町村別の県外転入者数は、鳥取市296人(男性146人、女性150人)が最も多く、次いで米子市の236人(男性101人、女性135人)であった。県外転出者数は、鳥取市の316人(男性147人、女性169人)が最も多く、次いで米子市の169人(男性83人、女性86人)であった。